授業科目　カウンセリング論

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	社会
伊東　正裕	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：ＧＩＯ>】

ソーシャルワークはカウンセリングと密接に関係しており、ソーシャルワーカーは心の相談としての広義のカウンセリングに精通している必要がある。この授業では、ソーシャルワークにおいて適切にカウンセリングを実施するために、カウンセリングについての理解を深め、実践上・理論上の基本的な事柄を習得することを目的とする。

【<学習目標>又は<行動目標：ＳＢＯ>】

1．カウンセリングを「学ぶこと」の意義を説明できる。
2．カウンセリングの目的やカウンセラーの倫理について説明できる。
3．カウンセラーの基本的態度やカウンセリングの基本的技法について説明できる。
4．カウンセリングの５つの構成要素について説明できる。
5．カウンセリングがどのように展開するか説明できる。
6．カウンセリングにおける実践と理論の関係について説明できる。
7．カウンセリングの学習方法･研究方法について説明し、実行できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	ソーシャルワークとカウンセリング・カウンセリングを学ぶ意味	1	講義
2	カウンセリングとは何か	2	講義
3	面接者の倫理	2	講義
4	カウンセリングの実際（１）分かるということ・初回面接と面接のゴール	3	講義
5	カウンセリングの実際（２）面接で得られる情報	3	講義
6	カウンセリングの構成要素（１）聴くこと	4	講義
7	カウンセリングの構成要素（２）見ること	4	講義
8	カウンセリングの構成要素（３）対等な出会い	4	講義
9	カウンセリングの構成要素（４）専門的関係	4	講義
10	カウンセリングの展開（１）来談者を「分かること」①	4,5	講義
11	カウンセリングの展開（２）来談者を「分かること」②	4,5	講義
12	カウンセリングの展開（３）受け止めること①	5	講義
13	カウンセリングの展開（４）受け止めること②	5	講義
14	カウンセリング理論と実践・研究法	6,7	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年･価格･その他>
教科書（必ず購入する書籍）	面接法（追補版）	熊倉伸宏	新興医学出版	２００３　１５００円
参考書	新訂・方法としての面接	土居健郎	医学書院	１９９２　１８００円
その他の資料	適宜プリントを配布する。			

【評価方法】

定期試験（論述式のテストを行い、理解度を評価する予定）

【履修上の留意点】

この授業は、3年次前期に開講する「カウンセリング技法」につながるものでる。「カウンセリング技法」の受講を希望する人及び精神保健福祉士受験資格の取得を目指している人は、しっかり習得しておくことが望ましい。

社会福祉学科　専門